

ひかり味噌 オリジナルエコマーク「ひかるエコ」を公開 環境配慮型商品へ順次表示を決定

ひかり味噌株式会社(長野県諏訪郡下諏訪町、代表取締役社長 林 善博、以下当社)は、環境に配慮した商品に対し、新たに当社オリジナルエコマークである「ひかるエコ」を表示いたします。SDGs への意識が高まる中、本取り組みにより、お客さまに一目で環境配慮型商品を見分けていただくことができるようになります。

公式サイト内で新たに公開する「ひかるエコ」特設ページでは、同マークの詳細を掲載するほか、対象商品ページでも「ひかるエコ」対象であることを分かりやすく表示いたします。



◆ 「ひかるエコ」とは

オーガニック味噌の供給量拡大や、プラスチック使用量削減を目的としたパッケージリニューアルなど、さまざまな形で環境問題の解決に取り組む当社の SDGs 活動をお客さまへ分かりやすくお伝えする方法として、オリジナルエコマーク「ひかるエコ」を開発いたしました。当社独自の基準を設け、それを満たす商品のパッケージに「ひかるエコ」マークを表示いたします。2024年7月時点で当社独自基準は7項目、対象商品は約30品です。

「ひかるエコ」は、「私たちの手で守りたい未来と環境」をテーマにデザインいたしました。手のひらに乗せた大豆の芽を緑色で描き、やさしさ・あたたかさ・安心感を表現しています。またマークの名前には、当社の社名由来の「ひかる」を採用し、その商品がどのように環境に配慮しているかを示す指標も記載いたします。

※ 「ひかるエコ」特設ページ: www.hikarimiso.co.jp/csr/hikaru-eco/

◆ 「ひかるエコ」指標と定義

指標	定義
オーガニック商品でエコ	有機 JAS 認証を受けているオーガニック商品
水溶性インキでエコ	資材の一部、またはすべてに水溶性インキを使用している商品
バイオマスインキでエコ	資材の一部、またはすべてにバイオマスインキを使用している商品
バイオマスプラでエコ	包材プラスチック(資材全体重量比)の 10%以上に、バイオマス素材を使用している商品
プラ削減でエコ	包材肉薄化、材質変更、サイズ規格変更などにより、資材全体重量比で 10%以上プラスチックが削減されているもの(2021 年比※)
紙素材でエコ	プラスチック素材を使用することが一般的な資材において、紙原料を一部使用することで、資材全体重量比で 10%以上プラスチックが削減されている商品(2021 年比※)
分別かんたんでエコ	容器を捨てる際に、分別が簡単にできるよう工夫されている資材を使用している商品(再剥離ラベルなど)

※ 2021 年以降に発売したものは、21 年以前に発売された同形態の商品と比較

◆ ひかり味噌の SDGs への取り組み

「自然の恵み、いただきます。」をブランドメッセージとし、SDGs への取り組みを推進しているひかり味噌では、食品業界における重要な共通課題である CO₂ 削減、プラスチック削減、フードロス削減を企業活動の基本とし、継続的な企業価値向上を目指しています。また、企業成長を通じて取り組むべき、当社独自の重点課題 3 点を選定し、それぞれに設定した目標値達成のために全社一丸となり精力的に取り組んでまいります。

食品業界の共通課題：

- ① CO₂ 削減
- ② プラスチック削減
- ③ フードロス削減

当社独自の重点課題：

- ① ダイバーシティ ～人的資源の尊重と育成、多様性の具現化～
- ② 持続可能なサプライチェーンの構築
- ③ 環境配慮型商品としてオーガニック味噌の供給量拡大



この度、導入した「ひかるエコ」は当社の SDGs 活動を、商品を通して分かりやすくお伝えすることを目指しています。指標とその対象商品についても拡充していきます。今後も、持続可能な食品製造販売事業を継続し、透明性をもって事業内容を発信することにより、お客さまやお取引先、全てのステークホルダーに安心してお選びいただける商品やサービスを提供し続けてまいります。